生け花教室　参加者募集

○村山公園仮設みんなの家
令和5年1月23日（月）10時30分～

○石野公園仮設みんなの家
令和5年1月26日（木）10時30分～

料　金：700円（材料代）
準備物：花ハサミ（お持ちで無い方は準備します）
講　師：池坊人吉支部

☆講師料は無料です。ボランティアで教えていただきます。
仮設入居者の方だけでなく、仮設外の皆さまからの参加もお待ちしております。

申し込み　人吉市地域支え合いセンター　☎0966-24-5570

人吉市地域支え合いセンター

スマイルだより

No.3
2023.1

被災された方々が生活再建できるよう、「見守り」「生活・健康支援」「地域交流の促進」など総合的な支援を行っています。

編集発行　人吉市地域支え合いセンター
人吉市西間下町４１番地１
☎ 0966-24-5570

熊本県弁護士会　無料法律相談

熊本大学D-SEVEN

人吉笑福会

11 月 3日(木)文化の日、人吉市地域支え合いセンター交流イベント「スマイルひろば」を村山公園仮設で開催しました。
お天気にも恵まれ、被災者の方や地域の方々、たくさんの方に来ていただきました。
再会を喜ぶ声が聞かれる中、地域の方々とも楽しく交流をされており、支え合いセンター相談員一同も大変嬉しく思っています。
次回開催をおたのしみに！「スマイルだより」でご案内します。

グリーンコープ

あらいぐま人吉

ひまわり亨災害支援ネットワーク

レイ＆ルアナハワイアンズ
レイルアナフラ＆ハワイアンズ

開会式

人吉農芸学院

人吉市農業委員会

CDSTおれんじぴーす

琉球舞踊愛好会

会場の様子

人吉市シルバー人材センター

人吉市共同募金委員会

人吉市ボランティア連絡協議会

支え合いセンター物資提供

陶芸愛好会（仮設入居者等自主サークル）

私たち頑張っています！

村本　鉄春様・タツ子 様

令和２年７月の豪雨の際、私達は下薩摩瀬町に 30 年程住んでいました。今回家財も全てなくなり、当初ずいぶん心配していましたが、別院さん、ボランティアの方々、そして子供達の応援があって今日を過ごしています。

毎日、球磨川の流れを見て楽しんでいました…。　今は仕事と家庭を守りながら暮らしております。

支え合いセンター訪問支援の方、ボランティアの皆様に心から感謝致しております。

（担当：宮川初代・牛島智子相談員）

柴田　龍一様・仁子 様

令和２年７月４日未明、避難警報や友人からの豪雨心配のメールがあったにもかかわらず、私たち夫婦は危機感を持たずいつもと変わらない朝を過ごしていました。

被災直後から、友人、知人、親せきなどから多くの励ましをいただきました。言葉かけ、救援物資の配達、ゴミ処理、買物の付き添い、車の貸し出し、そしてみなし住宅の提供。泥まみれの家の片付けを前向きに取りくめたのは、こんな暖かいご支援があったからこそです。寄り添ってくれる人がいるというのは本当にありがたいことで、一歩踏み出す力の源でした。

２年後の今年の７月、元の所に帰ってきました。ご近所の皆さんが変わらぬ笑顔で迎えてくださいました。同じ経験をくぐり抜けてきた同志のような関係。大切にしていきたいものです。

（担当：国武美幸・井手桂子相談員）

野田　眞司様・直美 様

あの水害からもう２年。早かった様な、長かった様な…。多くの方々に助けられ、どうにか再出発出来ました。家は全壊で失った物は多かったけれど、得た物も有りました。それは人の優しさ、温かさ、人の情けです。ひしひしと心の底までしみ込みました。本当に感謝しています。

今は週に３回のグランドゴルフが二人の楽しみです。今後は庭を花でいっぱいにするのが夢。自分達のリズムを取り戻し少しずつ恩返しがしたいです。

みなし仮設で孤独な時、支え合いセンターの相談員さんの訪問にも力を頂きました。

（担当：山科美栄子・久保山眞相談員）

大柿　長幸 様

水害のご縁で、全国からのボランティアの皆さんが２年を過ぎた今でも応援に来ていただき、感謝しています。昔は、「災害は忘れた頃に…。」でしたが、最近は、「災害は、明日にでも、いや今夜にでも…」と緊迫感を持っていた方がいいと思っています。防災の３要素である 3K（気づく、考える、行動する）を常に念頭において、TV や報道にお任せではなく、自分の命のために、自ら行動する今日この頃です。

無農薬のお米と竹細工作りをしています。竹細工作りは父の代から続いてやっています。竹ひごの細いものは約 1mm のものを使い繊細な模様もできます。興味がある方は是非見に来てください。

（担当：林美穂子・筌場美代子相談員）

武井　章様・京子 様

離れを作って住みはじめて、丸一年にして思いがけない水害にあいました。胸までつかり屋根に登ろうかという時、水が引きだしました。仏壇、家財、着物等、すべて捨てました。随分な量を廃棄処分しましたから、考えようによっては断捨離が一気にできた事になります。

水が引いてすぐ甥一家が弁当作ってかけつけてくれ、その後次々とボランティアの人が床下の水を抜いたりフローリングを拭きあげ天井灯をつないだりと手当てしてもらい、平屋ながら避難所に行く事もなく自宅に住んでいます。物心両面ほんとうに助けていただき感謝しています。

２年たった今でも時折元気にしていますかと顔を出して下さる方もいてうれしい限りです。最近は晴耕雨読の毎日を送っています。季節毎のお花が楽しみです。花を見においで下さい。

（担当：緒方節子・地内久美子相談員）

温泉町イルミネーション

温泉町の翠嵐楼から下薩摩瀬町へ行く川沿いの通りを、夜通られたことはありますか？通り沿いの住宅にキラキラ輝くイルミネーションが設置されています。

このイルミネーションは、被災後から現在も個人でボランティア活動をされている坂本さんが、温泉町を元気にしたいという思いから令和３年11月に設置されたもので、今年はより多くの世帯が参加し、クリスマスの時期だけでなく1年中温泉町を明るく照らしてくれています。

温泉町の皆さんも「坂本さんのあたたかい気持ちが嬉しかった。」「通りが明るくなった。」と喜ばれており、通りを行く方々も楽しまれているようです。

※撮影時のみマスクを外しています。